

さて、メイ・ポールまでやってきました。

この後の踊り方:—

その1. サンバ・ホイスクにつなげるのが一番簡単です。

その2. ステイショナリー・サンバ・ウォークを1小節踊り、(9)コルタ・ジャカに戻ります。

その3. 男性もコンティニューアス・ボルタ・スポット・ターンを使うことがあります。
メイ・ポールの最後、男女が向かい合った所で【左右】をウェスト辺りまでおろし、手のひらを軽く合わせます。ここから離れて踊ります —

- ① 男性は左回転の、女性は右回転のコンティニューアス・ボルタ・スポット・ターンを2小節使って2回転強し、ほぼ向かい合って終わります。
- ② 続いて、【ダンス・ホールド】になりながら、ナチュラル・ベーシック・ムーヴメントを1小節踊ると、サンバ<1>のリヴァース・ベーシック・ムーヴメントに戻れます。男性のナチュラル・ベーシック・ムーヴメントの踊り方は、右足前進(S) → 左足を右足に寄せ、トゥで床をプレス(a) → 右足に体重を戻す(S) → 左足後退(S) → 右足を左足に寄せ、トゥで床をプレス(a) → 左足に体重を戻す(S)です(2小節)。女性はこの逆になります。

アマルガメーション <3>

ここでは今まで出てきたフィガーに加え、新たに6つのフィガーを取り上げます。
アマルガメーションを見てみましょう。

順番	フィガー名	小節数
1	(16) リヴァース・ターン	(3小節)
2	(17) バック・ロックス	(2小節)
3	(18) プレート	(4小節)
4	(16) リヴァース・ターン後半 (男性が壁に面しておわります)	(1小節)
5	(19) プロムナード・ボタ・フォゴズ	(3小節)
6	(4) サイド・サンバ・ウォーク	(1小節)
7	(13) ステイショナリー・サンバ・ウォークス	(2小節)
8	(20) アルゼンチン・クロスイズ	(5小節)
9	(21) クローズド・ロックス	(3小節)

単独の追加フィガーとして:

- (22) トラベリング・ボタ・フォゴズ
- (23) クルザードズ・ウォークス&ロックス
(シャドー・ポジション)

このアマルガメーションでのリヴァース・ターンへの入り方:ー

- アマルガメーション <1>、ローリング・オフ・ディ・アームの最後で、
 - ①男性は、女性に左回転のリードをしながら【右左】のホールドを離します。この時、男性の左へのサンバ・ホイスクは、次のことを考え、後ろ気味に踏みます。
 - ②女性は左回転しながら男性の前を通り過ぎるかのように移動します。
 - ③女性がほぼ1回転半して男性の正面にくる所を待ち受けて、【ダンス・ホールド】になり、リヴァース・ターンに。
- アマルガメーション <2>、オープン・ロックスで女性が男性の右側にきてから、左側に移す途中で【ダンス・ホールド】になり、そのままリヴァース・ターンへ。
- その他の入り方は、【前にくる主なフィガー】を参照。

* モデル: 矢吹淳次先生・岡敦子先生 (矢吹淳次ダンススクール)